

第 9 1 回理事会議事録

1. 開催日 平成 2 4 年 4 月 1 9 日 (木) 1 2 : 0 0
2. 場 所 鉄鋼会館 8 0 3 号室
3. 出席者 高木理事長、酒匂副理事長、木村秀明副理事長、
阿部理事、岩谷理事、大川理事、秦理事、原理事、角田理事、
真柄理事、岡理事、山崎理事、永吉理事、齊藤理事、浅利理事、
瀬瀬監事、福原監事
事務局 (柘野)
4. 議 題 ①理事長挨拶
②第 3 7 期通常総会への付議事項について
(議案) 2 3 年度事業報告及び決算報告
(議案) 任期満了に伴う役員を選任について
(議案) 2 4 年度事業計画及び予算案
③第 3 7 期通常総会の出席予定者について
④総会運営に関する役割分担について
⑤懇談

議事に先立ち、本理事会に初出席の岡理事 (東海鋼材工業㈱参与) より挨拶が行われた。引続き以下の議事が進められた。

5. 経 過

(1) 理事長挨拶

高木理事長より大要以下の挨拶が行われた。

「今月 6 日以降、九州 (4/6 福岡)、東海(4/13 蔵王)各支部の総会に出席させていただき、地区の状況をお聞きした (大阪支部は 4/20 姫路、東京支部は 4/24 東京鉄鋼会館で開催予定)。この先どこまで落ち込むのかと思った時期もあったが、その頃に比べると、我々のマーケットもようやく底を打った感じがする。しかし期待感が先行してしまうこともあり、需要回復の足取りはいまだ不安定で、橋梁や鉄骨の出件がズレ込むなど、地方を中心にイライラした心境で過ごしているのではないか。北海道は量的には少し忙しくなっていると聞くが、九州は厳しさが続いているようだ。市況がさっぱり上がらない中で高炉が値上げを発表したが、止むにやまれぬ事情によるものと考えられるが、混乱の一因とならないよう注視しなければならぬ。量的な激減傾向に歯止めがかかりつつある中で、我々は加工賃の改善に向け、今後も地道な努力を続けることが肝要である。金融筋も厳しい姿勢を打ち出してくると予想され、地雷を踏まぬよう細心の注意が必要である。」

(2) 第 3 7 期通常総会への付議事項について

事務局より、5月18日開催の通常総会に付議する議案内容に関し説明が行われ、審議の結果了承された。

なお、今後は任期満了に伴う役員改選期に当たり、新理事長の選任を行う年であることから、席上、理事長候補者について諮ったところ、「引続き高木理事にお願いしたい」との推薦の発言があり、満場一致で了承された。本件は37期通常総会および臨時理事会において最終的に決定される予定である。

(3) 第 3 7 期通常総会の出席予定者について

事務局より、4月18日現在の総会・懇親会・ゴルフ会への出席者数等について報告があった。

- ・通常総会：組合員145社（うち委任状107社）。
- ・懇親会：組合員45名、賛助会員21名、業界紙等6名、計72名。
- ・懇親ゴルフ会：43名。午前7時に、太平洋コース6組、暖流コース5組が同時スタート。

(4) 総会運営に関する役割分担（案）について

事務局より、総会当日の役割分担案を説明、原案通り了承された。

(5) 懇談

出席の理事より、各地区の需要動向や問題点を中心に報告があり、種々意見交換が行われた。

以上